

令和8年度 大田区立馬込第三小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和8年9月1日

・児童数713名(9月1日現在)、22学級、特別支援教室(サポートルーム)拠点校。 ◆令和4年度に学校運営協議会を設置。大田区内最初のコミュニティ・スクールとして、地域の教育力を生かした特色ある学校づくりを推進。
 ◆令和6年度開校85周年に際し、記念集会の実施、記念誌の発行、記念写真・航空写真の撮影。 ◆校舎改築工事中、令和6年度2学期より仮設校舎へ移転。令和8年9月から新校舎建設開始。令和12年度完成予定。
 ◆校長1、副校長1、主幹教諭2、指導教諭1、主任教諭9、主任看護教諭1、教諭21、時間講師7、事務2(補助員を含む)、栄養士1、特別支援教室専門員1、スクールカウンセラー2、副校長アシスタント1、読書学習司書1、教員支援員1、学校特別支援員1、学校特別補助員4、学習補助員5、(民間委託)用務員、児童誘導員、施設管理員、給食調理員、ALT、エデュケーションアシスタント)
 ◆PTA活動、読書ボランティア、スクールサポート、同窓会活動が盛んで、児童の健全育成にすんで関与している。 ◆学区内に7町会があり、学校に対して大変に協力的で地域力が高い。
 ◆大田区独自活動「おおたの未来づくり」では、5年生が「地域の創生」を掲げ「馬込大盆踊り大会を盛り上げよう」に取り組み、6年生が「ものづくり」を柱として東京国際空港ターミナル棟を授業パートナーに学習を行っている。
 ◆たてわり班給食や遊び、きょうだいや学年などの異学年交流を通して、集団や社会における人間関係形成力の向上を図る。 ◆全校詩集「いおうた」の作成。
 ◆体力・運動能力の向上に「全校一取組」では、縄跳びカードとそれに伴う検定制度下、短縄跳びに取り組み。 ◆校外施設(室内プール)におけるインストラクターによる水泳指導。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未成 来し社 会を 創造 的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価児童アンケート「日常的にタブレットを学習に活用している」 「タブレットは『学習用タブレットのしおり』を守って使っている」において肯定的な評価をした児童の割合	4: 全て80%以上		A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価児童アンケート「学校行事、校外学習や移動教室、体験活動は楽しい」において肯定的な評価をした児童の割合	3: 全て70%以上				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価保護者アンケート「学校は、学校行事、校外学習や移動教室、体験活動の充実に努めている」において肯定的な評価をした保護者の割合	2: 全て60%以上				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
お世個 お界別 たと目 をつ標 担な2 うが 人国 材際 を都 育成 市し ます	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価児童アンケート「東京都や大田区の特徴、馬込地域について学ぶことは楽しい」において肯定的な評価をした3・4年児童の割合	4: 全て80%以上		A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価児童アンケート「日本の伝統や文化、東京都や大田区の特徴、馬込地域について学ぶことは楽しい」において肯定的な回答をした5・6年児童の割合	3: 全て70%以上				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		外国語科の2学期末の振り返り「外国語の授業は楽しい」「外国語の授業で、英語の力が伸びた」において肯定的な評価をした5・6年児童の割合	2: 全て60%以上				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
た一個 め人目 のひ標 基と標 礎り3 とが な個 る性 力と を能 力成 をを 発揮 する	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価児童アンケート「学習した内容はわかっている」「運動が好きです」「自分にはよいところがあると思う」において肯定的な評価をした児童の割合	4: 全て80%以上		A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価保護者アンケート「学校は、安全で栄養を考えた質のよい給食を提供している」において肯定的な評価をした保護者の割合	3: 全て70%以上				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校公開保護者アンケート「学習内容は、こどもたちによくわかるものであった」において肯定的な評価をした保護者の割合	2: 全て60%以上				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1: いずれかでも60%未満						
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									

学個別 校力目・標 教4師 力を向 上させ ます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価保護者アンケート「学校は、一人一人のことを考え、一生懸命に指導している」において肯定的な評価をした保護者の割合	4: 全て80%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て70%以上					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て60%以上					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: いずれかでも60%未満					
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校公開保護者アンケート「こども同士が話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしていた」「教師がこどもたちのよいところを認める場面があった」において肯定的な評価をした保護者の割合	3: 全て70%以上			B		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て60%以上					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1: 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。			1: いずれかでも60%未満			D		
			3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。								
た自個 め分別 のら目 学し標 びく5 をい支 き援い きと生 きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価児童アンケート「楽しく学校で過ごしている」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できる」において肯定的な評価をした児童の割合	4: 全て80%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て70%以上					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て60%以上					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: いずれかでも60%未満					
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。			3: 全て70%以上			B		
			3:80%以上100%未満の教員が回答した。			2: 全て60%以上					
			2:60%以上80%未満の教員が回答した。			1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。					
			1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1: いずれかでも60%未満			D		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
安柔個 心軟別 なで目 教創標 育造6 環的境 なを学 習空 間と す安全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価保護者アンケート「学校は、避難訓練を含む安全指導や健康教育の推進に努めている」において肯定的な評価をした保護者の割合	4: 90%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上90%未満					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 70%以上80%未満					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 70%未満					
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			B		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
核学個 と校別 し・目 て家標 の庭7 学・校 地を域 つと連 携ま す協働 による 地域コ ミュニ ティの	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特徴を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価保護者アンケート「学校は、家庭や地域と連携・協働して、教育活動を実施している」「学校は、PTAや地域活動に協力している」において肯定的な評価をした保護者の割合	4: 全て80%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 全て70%以上					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て60%以上					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: いずれかでも60%未満					
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3: 全て70%以上			B		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 全て60%以上					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1: いずれかでも60%未満			D		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								